

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

浜松市長 中野 祐介

市町村名 (市町村コード)	浜松市 (22130)	
地域名 (地域内農業集落名)	春野地区 (別紙のとおり)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月5日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

・耕地は集落単位で分散していて主に茶園で利用されている。川沿いの低地部では水稲作や露地畑作、ハウス畑作で利用されている。  
・山間地だが尾根を利用した比較的緩斜面に整備されたまとまった茶園が多い。良好な茶園が維持され高品質な茶が生産されているが、小区画や園内耕作道未整備の園地も多い。  
・まとまっている茶園集落では拡大希望の担い手は多いが、多くの集落では担い手がいないため自給農家のリタイアに伴い荒廃農地が増えている。

#### 【地域の基礎データ(R5.1担い手アンケート)】

・担い手農業者33名(69歳以下又は70歳以上後継者あり31名、70歳以上後継者なし1名、回答なし1名)茶産地  
・主な営農類型:水稲作0名、露地畑作3名、ハウス畑作3名、露地果樹0名、ハウス果樹2名、茶22名、花木2名、畜産1名、その他0名

### (2) 地域における農業の将来の在り方

・農協や大規模担い手により形成された作物産地の維持・発展を図る。(茶、花木)  
・担い手間の利用調整を進め、担い手ごとにほ場の集約化を図り、各々の耕作作業の効率化を図る。まとまったほ場の確保により、将来的なドローン利用や作業の自動化などスマート農業の導入の可能性を高める。  
・担い手耕作地の集約化に支障となっている荒廃農地の再生利用を図る。  
・リタイア時の耕作地やハウス等の農業施設の引継ぎ方法の確立、地域への周知浸透を図る。  
・有機栽培の拡大を進め、地域ブランドの確立(高付加価値品目)による農地利用の拡大を図る。  
・茶園地では基盤整備事業等により、耕作道の再整備、区画整理等を進め、効率的で低労力の耕作作業ができるようにする。  
・担い手不在地区については、山暮らしや田舎暮らし回帰などの新しいライフスタイル等を通じた農業経営以外の担い手確保による地域維持と農地利用を模索する。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	413.3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	413.3 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・農振農用地区域内の農地(青地農地)とする。ただし流動性の低い営農型太陽光発電下部農地は除く。  
・当初設定においては第91回農用地区域の変更(令和7年2月)に係る農地は除く。(このため上記(1)の面積は今後の変更あり。第91回農用地区域の変更分の確定後に面積確定する。)

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農業委員会(農業委員・推進委員)の農地利用最適化活動や農協、土地改良区による農地集積事業(定期的な貸出農地募集→利用調整の事業)により、担い手を中心に農地中間管理事業を活用した農地の利用集積を進める。集団農地では耕作地の集団化(集約化)のための耕作地交換を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用するため、まずは農地中間管理機構への貸付の拡大を図る。その後、農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用し、担い手リタイア時の耕作地の適切な継承や、担い手個々の耕作地の段階的な集約化(集団化)を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針
・担い手のニーズや地域の課題等を踏まえ、必要な基盤整備事業を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・現存の担い手による農地利用を優先しつつ、必要に応じて地域外から多様な経営体を募り、担い手として育成していく。また山暮らしや田舎暮らし回帰など新しいライフスタイル等による農業経営以外の担い手確保による農地利用を検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・地域の作業をまとめて実施することにより効率化が期待できる農作業については、担い手への作業委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①電柵等設置による獣害対策
- ②有機栽培の拡大などによる地域ブランドの確立(高付加価値品目化)
- ⑤産地維持のための基盤整備事業等による茶樹作の作業効率化の機運醸成
- ⑦地域環境保全活動(多面的機能支払)…野尻地域農村環境保全会
- ⑦地域環境保全活動(中山間直接支払)…高杉、花島牧野、越木平・モチクイド砂川集落協定
- ⑩山暮らしや田舎暮らし回帰など新しいライフスタイル等による農業経営以外の担い手確保による農地利用の検討

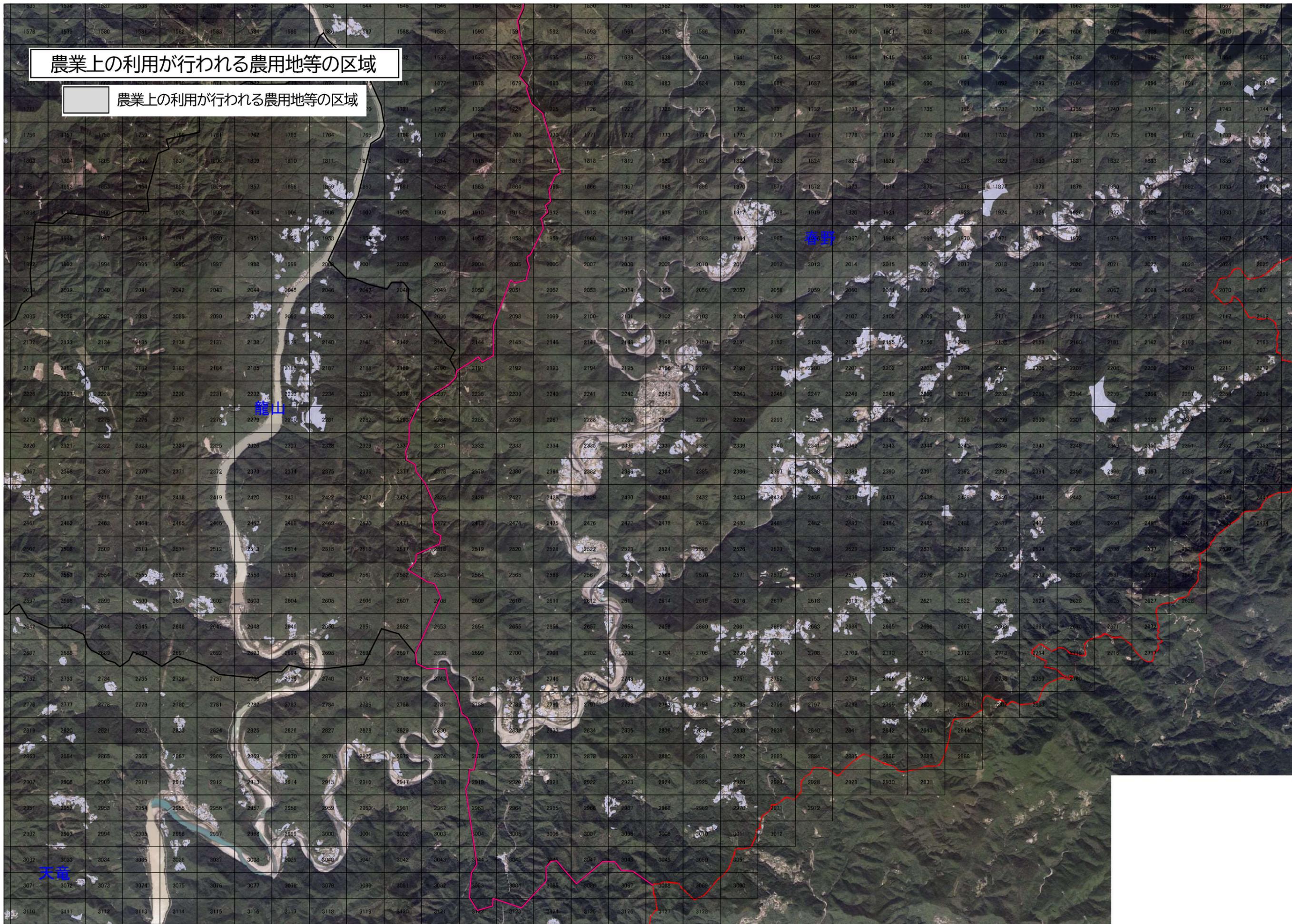
(別紙)

地域計画の地区	地区	農業集落名
春野	春野	犬居町・和泉平
春野	春野	犬居町・静修
春野	春野	犬居町・平野
春野	春野	犬居町・平尾
春野	春野	犬居町・昭和
春野	春野	犬居町・若身
春野	春野	犬居町・犬居
春野	春野	犬居町・東領家
春野	春野	犬居町・中山
春野	春野	犬居町・西領家
春野	春野	気多村・河内
春野	春野	気多村・高瀬
春野	春野	気多村・久保田
春野	春野	気多村・里原
春野	春野	気多村・平木
春野	春野	気多村・仇山
春野	春野	気多村・気田下
春野	春野	気多村・気田中
春野	春野	気多村・気田上
春野	春野	気多村・金川
春野	春野	気多村・郷島
春野	春野	気多村・山路
春野	春野	気多村・赤岡
春野	春野	気多村・篠原
春野	春野	気多村・野尻
春野	春野	気多村・植田
春野	春野	気多村・勝坂
春野	春野	気多村・石切
春野	春野	熊切村・長蔵寺
春野	春野	熊切村・石打松下
春野	春野	熊切村・田黒
春野	春野	熊切村・筏戸大上
春野	春野	熊切村・杉第一
春野	春野	熊切村・杉第二
春野	春野	熊切村・杉第三
春野	春野	熊切村・川上第一

春野	春野	熊切村・川上第二
春野	春野	熊切村・田河内
春野	春野	熊切村・越木平
春野	春野	熊切村・牧野
春野	春野	熊切村・花島
春野	春野	熊切村・大時
春野	春野	熊切村・砂川
春野	春野	熊切村・胡桃平
春野	春野	熊切村・五和

農業上の利用が行われる農用地等の区域

農業上の利用が行われる農用地等の区域



# 地域計画の地域の話合いの進め方

## ○参加メンバー

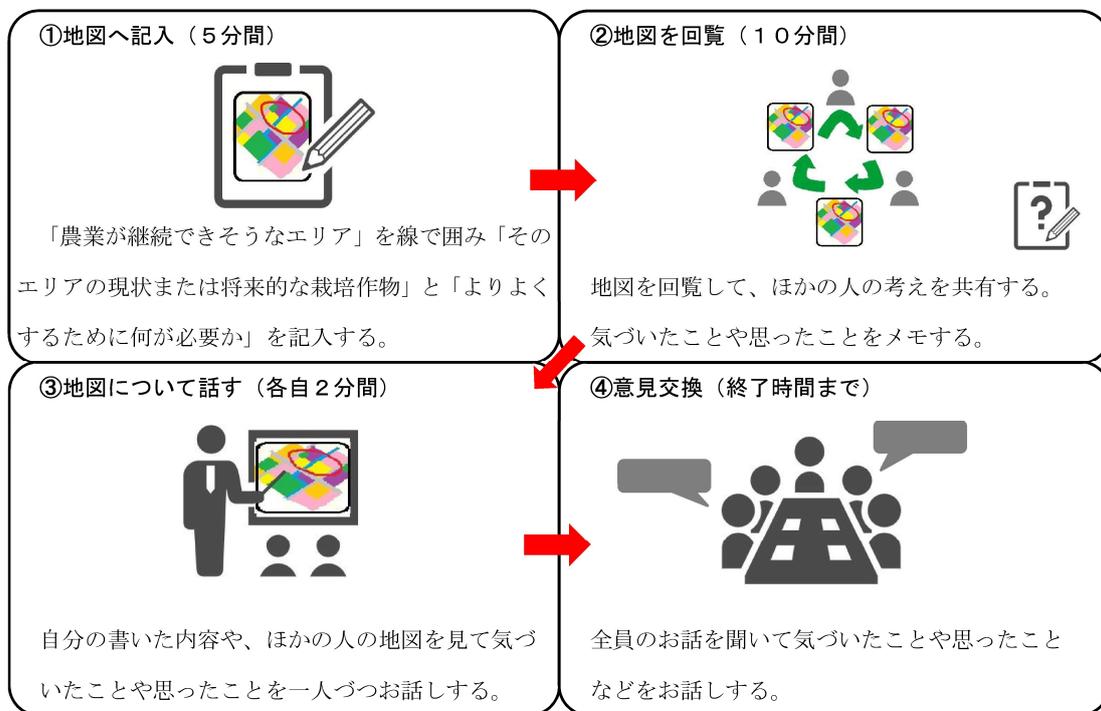
### 農業を行う側

- ・浜松市認定農業者協議会の役員
- ・地区内の農業者
- ・農協の産地作物部会の役員
- ・農協職員(地区営農支援担当)

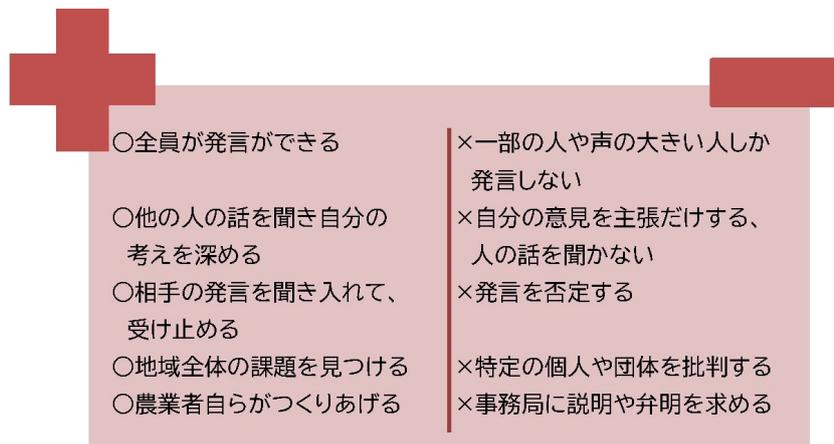
### 農業のサポート側

- ・農業委員、推進委員
- ・土地改良区、水利組合の役員
- ・中間管理機構(県公社)の職員
- ・県、市の職員

## ○話合いの進め方



## ○話合いのルール



地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	かたまっているところを中心に残していく	
春野	有機も視野に入れる	
春野	飛び地は残らないかも	
春野	林業と連携	
春野	若手がやりやすいように	
春野	五和一良い土地、農業以外でも	
春野	有機の検討もよいのでは	
春野	若者の野菜耕作エリアを決めるのが良いのでは	
春野	気田川沿いは田、五和は有機が良いのでは	
春野	個人ではなく会社やグループで行うのが良い	
春野	遊休農地で切り干し大根を増やしたい	
春野	委託してもらう計画があるが情報不足	
春野	隣り合っていない農地を使うための補助金もあればよい	
春野	高齢化により5年後放棄地に	
春野	場所の良いところはすでに借り手がいる	
春野	貸している茶園を自作に戻すのは難しい	
春野	旗振り役、指導者がいればよい	
春野	林業がメイン、集積は難しい	
春野	有機で作ったものを集約・販売できるシステムがあればよい	
春野	作ったものを茶商に売るのが固定化してしまっている、販路の見直しが必要	
春野	需要に合ったものを作る必要性	
春野	山間地のため農地に限られる	
春野	経営が今後成り立つかが重要	
春野	山間地ならではの付加価値、有機など	
春野	五和、砂川は担い手がいる	
春野	集約したいが等高線が多い、傾斜地、専門家の意見が欲しい	
春野	五和、砂川、犬居は耕作者あり	
春野	お茶は春野の特産品、お茶の花や実も活用できないか	
春野	耕作者がいるところもあるが傾斜が厳しい、道を拡幅するなど基盤整備が有効では	
春野	区画が小さいところを拡大	
春野	山間は現状厳しい	
春野	若者多い、「今後やってきたいと考えるところ」を今後のキーワードに	
春野	農業一本が厳しいのであれば他産業との連携	
春野	自作地が多い、集積集約が必要	
春野	販売のノウハウ、JA含めてプロの意見が欲しい	
春野	高品質、有機という春野茶の強みを生かしたい	
春野	放棄地を集団で耕作、若い集団に期待	
春野	天竜区の専門の販売員がいればよい	
春野	消費者に情報を届けるのが難しい	
春野	維持管理できる農地を絞っていくべき、すべては残せない	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	遊休農地や耕作放棄地の情報収集、情報の蓄積	
春野	遊休農地や耕作放棄地を利用、委託による大根の栽培	
春野	情報公開や指導者育成により担い手を作る	
春野	仲介者、専門家により集約整備のアドバイス	
春野	茶一耕作隊、トウモロコシなど裏作で良い品目があれば農地を増やしたい	
春野	茶一有機栽培	
春野	施設栽培	
春野	長蔵寺一高齢化、後継者不足により農業ができなくなってきている	
春野	存続しないと地域消滅する	
春野	水稲一水がある	
春野	有機茶	
春野	若者の畑	
春野	傾斜が緩く集積、区画の拡大、傾斜を緩く改良	
春野	自作地を耕作できる人へ貸すという流れができると将来的に農業が継続していける	
春野	高原野菜一町内No.1の環境、後継者いない	
春野	全体的に自作地が多い、担い手の活用が必要	
春野	集約集積ができれば効率アップ	
春野	担い手不足解消、存続のために何をするか	
春野	特色ある農業、有機を含む茶産業の発展	
春野	集約のための仲介者や専門家が必要	
春野	農地を増やすための情報収集と販売促進	
春野	仕事のやりやすい農地づくり	
春野	使っていない農地が借りられやすい仕組み	
春野	集積集約のための補助や仕組みづくり	
春野	使いやすい農地の活用	
春野	林業と農業を一つとして考える	
春野	高原野菜など新しい作物	
春野	裏作、担い手、担い手のもとで高齢者の働き先確保	
春野	地域を絞る、可能性のある場所、使いたい場所	
春野	気田、田河内の傾斜緩い、集積集約で効率UP	
春野	五和で高原野菜、有機茶	
春野	作ることではできても売ることではできない、2拠点居住など	
春野	茶業界で春野茶は有機であることが定着してきた	
春野	山間地であるゆえに限られた地域となる	
春野	現状に限らず必要に応じて開墾も必要	
春野	担い手に農地集約を進める	
春野	その他傾斜地、狭小地の活用として花木導入も選択できる	
春野	お茶、有機、無農薬を進める地域には頑張してほしいが販売力が弱いと思う	
春野	農業に希望がある農産物価格などにより担い手を作る努力が必要	
春野	五和、砂川は継続されそうという人が多かった	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	担い手の活用	
春野	販路の強化、直接需要のあるものをつくる	
春野	耕作隊という若い集団により農地の集団化	
春野	だれでも耕作可能な農地、ある程度の傾斜であれば農道整備	
春野	知人間で農地貸借をしている、情報の共有などにより集積する方法を検討	
春野	貸してくれない放棄地の対策	
春野	茶が地域農業の中心、有機	
春野	優良農地を求めている	
春野	野菜等の新しい工夫	
春野	就農者が多い、集落全体で守る	
春野	林業との共生	
春野	有機統一の茶工場ライン	
春野	中山間地域の補助金	
春野	遊休農地利用、存続しないと地域が消滅する	
春野	五和とお茶造成と集約	
春野	五和、田河内、砂川一茶の有機栽培	
春野	耕作隊による裏作	
春野	傾斜を緩くする整備	
春野	自作地は耕作できる人に貸すという流れができれば	
春野	全体的に自作地が多い	
春野	五和一高原野菜	
春野	山と農業は一緒に考える	
春野	お茶の販路、春野ブランド	
春野	利用権、人へ貸す流れができていますか	
春野	自作地多い、人へ貸す流れができれば	
春野	五和は一番の環境	
春野	後継者いない	
春野	遊休地の情報収集ができる体制が必要	
春野	エリアを決めて有機茶の推進	
春野	田河内一存続しないと地域が消滅する	
春野	長蔵寺一担い手がいない	
春野	造成と集積が必要	
春野	担い手づくりが必要	
春野	耕作隊でとうもろこし+裏作	
春野	今すでに担い手へ集積されているところは続けられるように	
春野	必要があれば基盤整備	
春野	平坦または傾斜が緩いところは自作地、担い手へ貸す仕組みが必要	
春野	規模拡大など意欲ある人が多い	
春野	全体的に自作地が多い	
春野	担い手の活用が必要	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	貸借ができれば効率が上がる	
春野	作物転換	
春野	水源問題	
春野	後継者問題	
春野	個人経営ではなくグループで	
春野	中山間地なので耕作条件がよければ借りてくれる人もいるが厳しい	
春野	ほとんどが畑地利用、そのほとんどが自作地となっている	
春野	高齢化が進んでいくと自作地は耕作放棄地になる可能性が高くなるので利用権設定により担い手につないでいけるとよい	
春野	飛び地は農地交換で集約集積ができると効率が上がるのでは	
春野	高原野菜、有機茶、しいたけ、ちんげん、担い手育成、トウモロコシ	
春野	有機茶園の将来	
春野	茶業以外の畑が多い、これからどうするか	
春野	地域分散、山との共存	
春野	個別にある点在した畑をどうするか	

